

6月11日(日)

午後2時～4時
(開場1時40分)

毎年5月15日～6月15日は「トウレット症候群啓発月間」です

「トウレット症候群」を知っていますか？

トウレット症候群は運動チックと音声チックが1年以上続く神経疾患であり、発達障害のひとつです。その動きや声は意図的なものではなく、簡単に止めることは出来ません。(詳しくは裏面を御覧ください)

「トウレット症候群」啓発イベント ～ 上映会・セミナー & 交流会 ～

◆ 会場: 神奈川県総合医療会館 2F会議室

アクセス/横浜市営地下鉄ブルーライン伊勢佐木長者町駅 4番出口より徒歩3分
JR関内駅下車 南口より徒歩10分

- ◆ 内容: ①上映会/「トウレットなんかには負けないぞ!」
ドキュメンタリー映画(27分・日本語字幕付き)
- ②セミナー/「トウレット症候群」の理解と支援について
- ③交流会/当事者の体験や質疑応答を交えての座談会

◆ 申込: トウレット友の会 ホームページ【お問合せ】フォームよりお申込みください。(裏面参照)

◆ 問合せ: E-mail tourettefriends@yahoo.co.jp (トウレット友の会)

参加費無料
要申込/先着60名

主催: トウレット友の会 後援: 神奈川県・横浜市教育委員会・NPO法人日本トウレット協会

「トゥレット症候群」の誤解から生じる辛さ

～神奈川県立こども医療センター～

児童思春期精神科 部長 新井 卓

トゥレット症候群とは、体を動かしてしまう運動性チックと声を出してしまう音声チックが長期間出現する慢性チック症の別名です。

本症候群を抱える人々は、症状の性質上、意図的に行っているわけではないのに周囲からは“わざと”しているように見えたり、症状をごく短時間であれば止めることができることから、誤解されたり、叱責されたりするといった辛い体験をすることが多いです。こうした理由から彼らは症状自体の激しさや奇異な様子を周囲の人々にみられてしまうという辛さだけでなく、誤解から生じる人間関係のこじれによる心理的苦痛が絶えないのではないかと日々、感じています。

本症候群の症状の性質を周囲が理解することで苦悩する人々の辛さが少しでも軽減されることをいつも願っています。

映画について

邦題「トゥレットなんかには負けないぞ！」

この映画は米国トゥレット協会とHBO（米国のケーブルテレビ会社）が共同制作した“*I Have Tourette's but Tourette's Doesn't Have Me*”の日本語字幕付き版です。子供たちがトゥレット症候群と向き合い成長していく姿を追ったインタビュー形式のドキュメンタリー映画です。ご家族で、是非ご覧ください。

<2006年 エミー賞 受賞作品>

「トゥレット症候群」 Q & A

(出典:チックをする子にはわけがある)

Q:チックとは何ですか？

A:チックは反復する動きや声で、意図的なものではなく簡単に止めることは出来ません。

Q:トゥレット症候群とは何ですか？

A:18歳未満で発症し、複数の運動チックと音声チックが1年以上続く、脳の神経疾患です。

Q:トゥレット症候群はどれくらいの発症率ですか？

A:トゥレット症候群は0.2～1%の割合で発症すると言われています。

Q:チックの原因は何ですか？

A:ドーパミンを中心とする脳の神経伝達物質のアンバランスの関与が指摘されており、生物学的な機序のある脳の神経疾患です。

Q:チックは、社会でどのように理解されているのでしょうか？

A:チックは、かつては「心因性のもの」「親の育て方のせい」などとされていました。現在でも誤解を受けることが多く、本人や家族は辛い思いをしています。また、繰り返す不自然な動きや音声には「変な人」「頭がおかしい人」などと偏見や差別の目が向けられ、心に深い傷を負います。

Q:トゥレット症候群はチック以外で困る症状はありますか？

A:強迫性障害、ADHD、LD、不安障害、睡眠障害、怒り発作といった症状を高率で併発します。その症状のため、QOL(生活の質)が著しく低下し、生活自体困難になるケースもあります。

お申込み方法

お申込みは、「トゥレット友の会」ホームページの【お問合せ】から、もしくは下記アドレスにご連絡ください。

E-mail tourettefriends@yahoo.co.jp (要申込・先着順ですが、空席があれば当日参加も可能です)

申込時には、以下の項目をお知らせください。①氏名 ②参加人数 ③お住まい(市・区など)④このイベントをどのようにして知ったか? ⑤当日連絡のつくメールアドレスもしくは電話番号(緊急連絡用のためにお尋ねしています) 個人情報につきましては厳重に管理し、本開催に関する連絡以外には使用いたしません。(お問合せ先090-7000-7837)

主催：トゥレット友の会 後援：神奈川県 / 横浜市教育委員会 / NPO法人日本トゥレット協会

上映概要

【映画について】

原 題：“I Have Tourette's but Tourette's Doesn't Have Me”

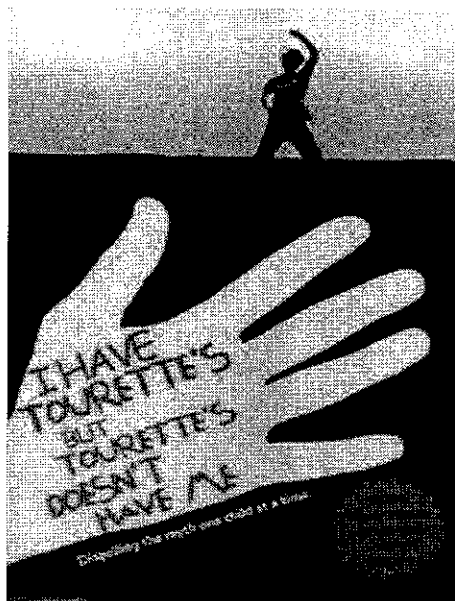
邦 題：「トゥレットなんかには負けないぞ！」（日本語字幕付き）

この映画は “I HAVE TOURETTE’ S BUT TOURETTE’ S DOESN’ T HAVE ME” に日本語字幕をつけたものである。

内 容：トゥレット症候群を抱える子どもたちが自分の症状に向き合う姿を追ったインタビュー形式のドキュメンタリー映画（約 27 分）

製 作：米国トゥレット協会と HBO（米国の大手ケーブルテレビ会社）の共同制作。

受賞歴：2006 年エミー賞（子供向け番組部門）



アメリカではトゥレット症候群の罹患率は約1%と言われており、学校にはトゥレット症候群の子どもが1人はいると思われまゝす。しかし、保護者も教師もその周りの子どもたちも理解していません。こうした子どもたちは“いじめ”の対象になったり、偏見や差別を受けたりすることも少なくありません。この映画は子供たちがトゥレット症候群と向き合う姿を追ったインタビュー形式のドキュメンタリー映画です。

【上映について】

上映許諾：トゥレット症候群の啓発や研修を目的とした利用に限り、日本語字幕版の上映許可を米国トゥレット協会から得ています。（以下条件付き）

（注）但し、テレビ放送、インターネットなど電子媒体への流出、営利目的での使用、著作権法違反となる行為並びに疑わしき行為を行わない。

上映場所：スクリーン、プロジェクター等の付帯設備がある会場。